

第11回 議会報告会 広丘地区 記録（概要）

令和2年2月14日(金) 午後7時から えんてらす

◎ワークショップ

テーマ1「えんてらす」を中心とした若者の街づくりについて

1班

① 施設運営

- ・ 若者は、えんてらすでの活動にどう参加するか
- ・ 若者が集まるイベントを開催する
- ・ えんてらすを利用する年齢層、性別を把握する
- ・ 商工会など関係団体との意見交換
- ・ 婚活イベントの開催
- ・ 利用したことのない人へのPR

② えんてらすへの誘導

- ・ 歩いて楽しい広丘の街にする
- ・ 広丘駅、えんてらす、プラスαの回遊性
- ・ 短歌館まで人を導くには
- ・ えんてらす利用者と商店街を結び、街を盛り上げる方法はないか

③ 世代間の交流

- ・ おばあちゃんの知恵袋を若い母親に伝える場、機会の創出
- ・ 子どもとお年寄りの接点を作る
- ・ 世代間交流の場として活動を企画するリーダーを養成
- ・ 地域コミュニティーの核となる施設づくり
- ・ 大学、高校、中学生らの交流の場が欲しい
- ・ 若い人達によるワークショップで活用を検討する
- ・ 皆の憩いの場になればよい

④ ハード整備

- ・ えんてらす利用者などのランチ・カフェが近くにあれば良い
- ・ 国道から入る市道を拡幅し来客を迎える対策

⑤ 改善点

- ・ 高齢者が利用できる気さくな場所があっても良かった

⑥ 議会・行政への提言

- ・ 誰しも自分の住んで居るところを元気にしたいと、しかし街に若者がいない。街を歩けば高齢者ばかり少子化が迫る現実。なおさら住民が集う、集える、区政の役割、議会の役割、住民の喜びにつながる施策を。

⑦ 出来て良かったこと

- ・ 高校生など青少年の集いの場となり、駅などでのたまり場的光景が減った

2班

【良いところ】

① こどもが楽しめ、集まりやすい

- ・ こどもが自主的に集まっている
- ・ こどもが楽しみで来ている姿が見られる

② 親が集まりやすい

- ・ 若い母親が集まる
- ・ 母子で利用できる

③ 建物内のスペースが広い

- ・ 空間が開放的でよい
- ・ 明るくて入りやすい
- ・ 施設が集約されており効率がよい

④ 利用しやすい

- ・ 夜遅くまで利用できる
- ・ 職員や担当者の対応がよい
- ・ 楽しみな講座があり誰でも参加できる
- ・ こどもの利用に親の安心感がある
- ・ 立地がよい
- ・ 幅広い年代が集まりやすい
- ・ 市街の人も利用できる

⑤ 若者主体がよい

- ・ 若者により活気が生じる
- ・ 大勢の学生の学習の場となっている

⑥ 図書館が有効

- ・ 利用しやすい
- ・ 図書館と子育て施設が併設されており相乗効果がある

【今後の整備希望等】

- ① 図書館の拡大を
 - ・ 図書館が手狭な感じがする、出来れば広げてほしい

- ② 交流の場として拡充を
 - ・ 子育て支援センター、公民館、図書館との連携の場とする
 - ・ 世代間交流や各種団体の交流の場とする
 - ・ 近隣市町村との交流の場とする
 - ・ マネージャーのアイデアに期待する

- ③ 学生（中高生）の利用拡大を
 - ・ もっと学生（中高生）の利用促進を

- ④ 会議室の増設を
 - ・ 会議室の部屋数を増やしてほしい

- ⑤ 講座の定員拡大を
 - ・ 調理実習の定員を拡大してほしい

- ⑥ 駐車場の拡大整備を
 - ・ 利用増となった場合、駐車場の拡大が必要ではないか

- ⑦ 地元商店街への回遊促進を
 - ・ せっかく集まった人を地元商店街へ回遊させることが必要

- ⑧ 利用状況（空き室）情報の発信を
 - ・ 各部屋の利用申し込みのため、利用状況を情報発信してほしい

- ⑨ 娯楽施設の設置を
 - ・ カラオケルームなど、仲間と楽しめる娯楽部屋を設けてほしい

3班

- ① えんてらすが出来て良かったと感じること（改善点も含む）
 - ・ 高校生・大学生の姿が見られ様子がわかって良い。
 - ・ 若者が多数集まって勉強している。
 - ・ 学生が勉強できるようになった。
 - ・ 休日に小中学生の姿があってよい。図書館に常に人がいる姿を外から見られるのは良い。

- ・ 図書館併設で人が集まりやすくなった。
- ・ 図書館が利用しやすくなった。
- ・ 駅が近く学生が利用しやすい。
- ・ 松本の学生が来てくれる。
- ・ J R電車の窓から見た「えんてらす」の夜景がとても良い。行きたくなる。
- ・ J Rの西側の「にぎわい」が出てきた。
- ・ 入りやすい。敷居が高くないのが良い。
- ・ 建物全体が夏涼しくて冬暖かい。
- ・ 広丘商工会のみなさんが張り切っている。

[改善点]

- ・ 公用車駐車スペースが道路から見るといやらしい。
- ・ 西側駐車場を使えるようにしてほしい。
- ・ 駐車場が狭い。
- ・ 近くにコーヒー店又は軽食があるとよりいい。

② これからの活用方法

- ・ 高齢者の活動、グループがほしい。
- ・ 老人の休むスペースがほしい。
- ・ 山雅のホーム戦の時、お祭り騒ぎにするしかけ。
- ・ 「えんてらす」から短歌の小径、商店街への人々の流れ

テーマ2 地区役員の見直しとなり手不足への対策について

1班

① 選出のためのルールづくり

- ・ 役員を担当する順番のルールを作る
- ・ 区長、常会長、組長はローテーションを決めて回すが、難しい・・・
- ・ 地区役員を選出単位、戸数と役員数の比率の適正化をどうするか
- ・ それぞれの役員の仕事を知らない人が多いため、引き受けない

② 報酬を上げる

- ・ 手当を上げる
- ・ 区長、館長、主事などの仕事量と出役日が多い→報酬の増

③ 高齢化への対策案づくり

- ・ 高齢世帯が増えているので、役員が回ってくるのが早い。
- ・ 地域世帯の構成が高齢化している

- ・ 高齢世帯の役員をどうするか

④ 活動して良かった事の周知

- ・ 受ける前は嫌がっても役員が終わる頃には受けて良かったと思っている
- ・ 役員をやることにより、人を知り交流する楽しみをPRする
- ・ 役員をやってみれば面白さが分かるが、その入り口に課題がある

⑤ 女性の登用と人材の育成確保

- ・ 若い人、女性にも役員に参加してもらおう。また、そのような人材を育てる
- ・ 若くて有望な人材を育てる
- ・ 女性の登用
- ・

⑥ 業務内容の見直しと負担の軽減

- ・ 役員の業務内容が旧態依然としているので、若い人が受けにくい
- ・ 仕事をしているとなかなか出来ない
- ・ 充て職が多い
- ・ 自治会の役割（必要性）を見直す
- ・ 民生児童委員の多くの方は仕事が大変すぎると思っている。仕事内容の見直し

2班

【現状の課題】

① 成り手不足、役員任期など

- ・ 民生委員の任期が長い（3年→2年）
- ・ 常会の戸数が少なく、何かしらの役員が毎年回ってくる
- ・ 役員の成り手不足のため範囲を広げる（常会→街区など）と、役員の仕事が十分に機能しなくなる
- ・ 順番制にも問題がある
- ・ 仕事をしている年齢が高くなっているため、役員をやるにしても高齢になる

② 役員構成、仕事内容が不明

- ・ 役員構成がよく分からない
- ・ 役員の仕事内容が周知されていない

③ 高齢化、一人暮らしの増

- ・ 高齢化により役員の出来る年齢層が少なくなっている
- ・ 一人暮らしや空き家が増加している

④ 地域のコミュニケーションや連携不足

- ・ 日頃のコミュニケーション不足により、域内の人材が分からない
- ・ 日頃の友達付き合いがない
- ・ 根回しによる選出があり、適任者を選出できない

【今後の対策】

① 役職、仕事内容の見直し

- ・ 役職の統合など見直しが必要 ⇔ 統合して役職を減少させても、役員の負担増となる
- ・ 他地域の役職や活動内容を参考にして、地域に合った組織とする

② 市職員の積極参加

- ・ 役所内の評価制度を設け、積極的に役員となった職員の評価を上げる

③ やりがいをつくる

- ・ 役員をやって良かったと思えるような対応を考える（役員終了後の待遇など）

3班

① 地区役員を選出に関して困っていること

- ・ 高齢者が多い。若い人は働いている。
- ・ 自分からやってもいいという人がいない。
- ・ 区役員以前は農家が多かった。青年部があった。地域の人がみな知り合い。今はその逆。
- ・ 少しでも若いうちに受ければ楽という考えはないか。
- ・ 転入時に地区役員を受けない条件を付ける人がいる。
- ・ 一度何かの役員を受けると、次々と役が回ってくる。（頼まれやすくなる）
- ・ 行事が多すぎやることが多い。
- ・ 若い人が受けにくい。会議の時間、行事を行う日、曜日等。
- ・ 役員がどのようなことをするのか意外に知られていない。
- ・ 受けてみたら思っていたことと違う。→やめる。
- ・ 常会・ブロック、役員になるとどの位負担があるかわからないので受けない。
- ・ あて職が多すぎる。
- ・ 人選が難しく兼務でしのいでいる。

② 成り手不足の現状と改善策

- ・ 各団体でイベントを止める事を真剣に考える必要がある。
- ・ 女性消防隊は必要か。
- ・ 女性の方の出席を増やす。
- ・ 常会の再編成を考えないと常会役員の受け手がいない。

- ・ 成り手不足の原因は区役員、常会ブロックと別にあり対策を分けて考えるべき。
- ・ この役員になればこの位時間がとられ、どのようなスキルが必要か明確になっていれば受ける人もいる。